

近代日本創生の源流を学ぶ

若き

渋沢栄一

欧州を巡る



2024.6.29 土 - 9.23 月・振休

但し、7.15 8.12 9.16、9.23 (月・祝/振休)は開館。7.16、8.13、9.17 (火)は休館

10:00 - 17:00 | 月曜休館 | 入場無料
ガスミュージアム「ガス灯館」2階ギャラリー・「くらし館」1階 渋沢栄一ギャラリー



Eiichi's Journey



2024.
6.29 土
|
9.23 月・振休

但し、7.15 8.12 9.16、9.23(月・祝/振休)は
開館、7.16、8.13、9.17(火)は休館

若き
渋沢栄一
欧州を巡る

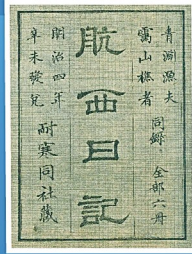
近代日本創生の源流を学ぶ



写真 慶応遣欧使節団一行
撮影：慶応3年(1867) 出典：「龍門雜誌 第522号」



洋装姿の徳川昭武氏肖像写真
撮影：慶応4年(1868)
出典：「青淵渋沢栄一翁写真真伝」
昭和16年(1941)



航西日記 卷之一 扉
渋沢栄一 杉浦謙
明治4年(1871)

今年7月に新しいお札の顔となる渋沢栄一は、「近代日本をつくった男」「日本資本主義の父」とも呼ばれる人物ですが、その原点には、慶応3年(1867)に27歳の若さで随行了した、将軍名代の徳川昭武公のバリ万博使節団での欧州歴訪体験がありました。

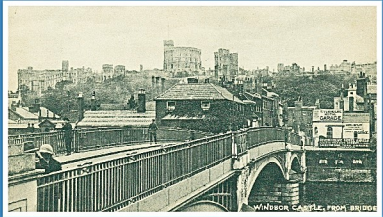
栄一は、昭武公の欧州各国への表敬訪問の同行、その後の留学生活から、最新の産業技術や食文化、経済システムを目の前にし、それまでの考え方を改めて、知識や情報を吸収していきました。

時代が明治へと変わり帰国した栄一は、欧州での経験を活かし「合本(がっぽん)法」(市民の利益のために出資者を広く集めて事業を興し、その事業で得た利益を分配すること)を実践していきました。その後生涯を通じて、合本法の考え方を考えることなく様々な制度や組織、事業を生み出し、近代日本の礎を築いていきます。

また栄一は、欧州で、ガス、上下水道、鉄道をはじめとする社会インフラへの知見や、寄付による福祉システムの運営、軍人と商人の対等な関係など、身分や立場を越えた関係のあり方も学んでいます。経済人としてだけでなく、福祉や教育など、栄一が生涯を掛けて尽力した公益のための取り組みにも影響を与えていると考えられます。

今展示会は、第一部を企画展として、使節団の一員であった杉浦謙と渋沢栄一の欧州見聞記「航西(こうせい)日記」を中心に、徳川昭武公の欧州滞在中の日記や、上司の栗本鋤雲(じょうん)による「曉窓追録(きょうそうついろく)」などの資料から、栄一らの欧州歴訪の軌跡をたどります。そして、栄一が各地で学んだ知識や情報が、帰国後にどのように近代日本において結実していったのか紹介しています。あわせて、栄一らが欧州滞在中に各国で触れた食文化の体験についても取り上げています。

第二部は、若き日にパリで感動を抱いた近代都市インフラの「ガス事業」を、市民のための公益事業として日本で実践した歴史、「渋沢栄一とガス事業～公益追及実践の軌跡～」(常設展示)をご覧ください構成の展示会としています。



絵葉書 イギリス ウィンザー城 1910年代



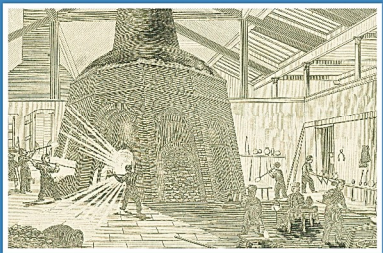
絵葉書 パリ コンコルド広場 19世紀



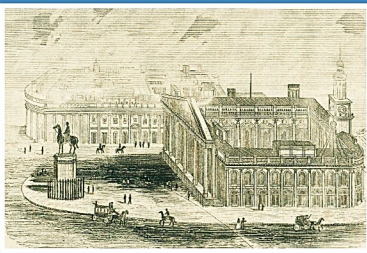
絵葉書 イタリア マルタ 1910年代



絵葉書 スイス ヘルン市街 1910年代



銅版画 ベルギー ガラス工場
出典：「特命全権大使米欧回覧実記」明治11年(1876)



銅版画 英国銀行(奥)と商人集会所
出典：「特命全権大使米欧回覧実記」明治11年(1876)

表掲載画像[左上から] 写真 パリ 凱旋門 出典：「青淵渋沢栄一翁写真真伝」昭和16年(1941) / 絵葉書 ベルギー ブリュッセル市庁舎 1900年代 / フランス滞在時の渋沢栄一肖像写真 撮影：慶応3～4年(1867～68) 出典：「青淵渋沢栄一翁写真真伝」昭和16年(1941) / 銅版画 イギリス ウェストミンスター寺院と橋 出典：「特命全権大使米欧回覧実記」明治11年(1876) / フランス滞在時の渋沢栄一肖像写真 撮影：慶応3～4年(1867～68) 出典：「青淵渋沢栄一翁写真真伝」昭和16年(1941) / 航西日記 卷之一 表紙 渋沢栄一 杉浦謙 明治4年(1871)

本展との運動企画として、栄一たちが訪れた時代の欧州料理を現代風にアレンジした特別料理教室を、東京ガス料理教室で8月と9月に開催します。若き渋沢栄一の欧州見聞を身近に感じていただきながら、食文化の歴史に触れられる貴重な機会です。詳しくは、東京ガス料理教室ホームページ[※]を参照ください。

※8月の教室は7/1(月)12:00より、料理教室ホームページにて募集開始

<https://www.tg-cooking.jp/>

ガスミュージアム GAS MUSEUM がす資料館

〒187-0001 東京都小平市大沼町4-31-25
TEL 042-342-1715
開館時間 10:00-17:00 月曜休館 入場無料

<https://www.gasmuseum.jp/>

バス 西武池袋線 東久留米駅西口より【武21】錦城高校前経由
…武蔵小金井駅行き 西武バス「ガスミュージアム入口」
バス停下車徒歩約3分
西武新宿線 花小金井駅北口「花小金井駅入口」バス停より、
またはJR中央線 武蔵小金井駅北口より【武21】錦城高校経由
…東久留米駅西口行き 西武バス「ガスミュージアム入口」
バス停下車徒歩約3分
徒歩 西武新宿線 小平駅より徒歩約20分(2km)
車 新青梅街道 滝山南交差点角 ※駐車場無料

